

ネット写経のすすめ

忙しい現代人の心の休憩室



実際の写経会にもぎわっている(岩手県平泉の中尊寺)



パソコンとやる気さえあれば...

何かと胸にトゲが突き刺さることの多い時代だから、一心にお経を書き写す写経が静かなブームだという。そんな中で、これも時代と言わなければならない。パソコンを使ったインターネット写経なるものが登場した。仏教と情報技術の融合は果たして衆生を救うのか。

四季折々に咲く花の移ろいが楽しめる鎌倉の古刹、長谷寺は別名「長谷観音」と呼ばれ親しまれている。それだけに女性の人気が高いが、彼女たちが熱心に通うお目当てはもう一つある。「当寺では毎日、写経の受け付けをしています。毎月18日に催す「写経会」には特に女性が多く参加されます。その数も年々じわじわと増えています」

長谷寺の担当者はそう説明する。涼風が吹き抜けるお堂で心を静かに落ち着け、一筆一筆、気持ちを込めてお経を書き写す「写経」。もともと仏教の修行の一つであるが、それが今、一般の人々の心をつかみつつある。長谷寺には直近の3カ月で約2000人が写経をしに訪れたという。

「日ごろ一生懸命働いている方が、非日常的空間を築く中で、リフレッシュメントを求めるのではないでしょうか」(長谷寺) また、仏教雑誌「大法輪」の小山弘利編集長が話す。「少子化の影響で仏教系大学も経営が厳しい。そこでアフター5の社会人を狙って一般向けの講座を開設する動きがある。そんな風潮の中で座禅会や写経会にも人気が集まっています」

名前とメールアドレス、住所を明記して送信すると、後日、記念品とともに「納経の證」が送られてくる。実は写経とは、お経を書き写して終わり、ではない。写したお経をお寺に納めて(納経)、完結する。ネット写経の場合、これをメール送信という機能で代行しているわけだ。

実際にお寺で写経をする場合は、実費程度の「納経料」をお布施するのが通例だが、盛岩禅寺の「電脳写経」の面白いところは、〈納経料は頂戴いたしませ

しようか」(長谷寺) また、仏教雑誌「大法輪」の小山弘利編集長が話す。「少子化の影響で仏教系大学も経営が厳しい。そこでアフター5の社会人を狙って一般向けの講座を開設する動きがある。そんな風潮の中で座禅会や写経会にも人気が集まっています」

名前とメールアドレス、住所を明記して送信すると、後日、記念品とともに「納経の證」が送られてくる。実は写経とは、お経を書き写して終わり、ではない。写したお経をお寺に納めて(納経)、完結する。ネット写経の場合、これをメール送信という機能で代行しているわけだ。

んので、最寄りのところで
献血にご協力して下さい」
とあるのだ。三宅俊禅住
職がこう話す。

「インターネットをしてい
る人が何千万人いるか分か
りませんが、その中で当寺
のサイトで写経をしてくれ
たのですから、サービスし
ないといけない。HPは96
年に開設しました。この寺
でも檀家の1割以上は東京
方面にいる。そういう方々
とつながりを保つためにも
HPは欠かせません」

また、愛知県春日井市の
瑞雲寺 (<http://www.mna.ccnw.ne.jp/zuinji/>) は
4年前にネット写経を開始
した。HPにある「写経の
ススメ」からは、般若心経
と延命十句観音経の写経用
紙がダウンロードできる。
写経用紙は文字が薄墨にな
っていて、プリントアウト
して筆やペンでなぞる仕様
みだ。キーボードで打ち込
む方式と違い、より本格的
な写経の雰囲気味わえる。
納経は郵送で行う。納経

料については特に定めず、
（ボランティア団体などに
寄付、募金して頂ければ幸
いです）
とある。

さらに、これぞネット写
経といふべきなのが、名古屋
市にある白林寺 ([http://
homepage2.nifty.com/
hakurinj/](http://homepage2.nifty.com/hakurinj/)) の「でじたる
写経」だろう。おなじみの
般若心経、延命十句観音経
などの「お手本」をダウン
ロードし、パソコンの画面
上でマウスを筆に見立てて、
お経の文字をなぞってゆく。
納経は出来上がったファイ

ルをメールで送る。
「文具店に行けば写経用紙
は売っていますが、買いに
行っても、そもそも写経の
やり方がわからないという
人もいる。手軽に写経に触
れてもらおうと思って2、
3年前に始めました」

白林寺の武山廣道住職は
そう話す。そこで記者もお
手軽な気持ちで「生活信条」
というお手本をダウンロード。
100文字程度の短い文
面だが、マウスの扱いに苦
戦し、20分以上かけて、文
字ともいえない代物が仕上
がった（左参照）。

写経で一筆一筆書くように、
キーボードを一字一字打っ
ていく。形は違っても、心
を込めてやるという意味で
は同じです」

一方、瑞雲寺の青井有隣
副住職はこんな話をする。
「写経をして何かいいこと
があるのか、と聞かれるこ
とがありますが、そういう
こととは違います。例えば
誰かの病気の回復を願うう
ちに、写経をする気持ちに
なれたとしたら、それは尊
いことだと思います」
宗教法人のHP制作を数
多く請け負う「日本テンブ
ルヴァン」の井上文夫社長
によれば、HPを持つてい
るお寺は全国で1700、
1800程度。そのうち、
ネット写経を行っているの
は約200カ所だ
という。

もつと、お寺と一般の人と
の双方のコミュニケーション
になっていけばいいの
ですが、今は試行錯誤の段
階です」（井上住長）

まだまだインターネット
は「写経ブーム」の受け皿
として十分な働きをしてい
ないというのである。
宗教とメディアの関係に
ついて詳しい、僧侶の志茂
田誠諦氏がこう話す。
「京都や奈良の有名なお寺
が今、東京に別院を造って
進出してきています。その
理由の一つに、写経を通じ
て人々と触れ合う場を求め
ていることがある。お寺側
が、いかに現代人の「心」
を引き付けるメニューを出
せるかが問われている。自
分の心に向き合っている。自
分というのが仏教の本質です。
「生きた仏教」に触れてもら
う一つのきっかけとして、
インターネットは力を発揮
すると思います」
ワンクリックも多生の縁
ということか。

「生きた仏教」に触れるきっかけ

ところで、気になるのが
パソコンを使った写経でも、
「御利益」は薄れないものな
のか、ということだ。前出
の盛岩禅寺の三宅住職がこ
う話す。
「子どもの命日だからとか、
親が病気で入院しているの
で、という理由で写経をな
さる方がいます。毎日1巻

生活信条

一日一度静かに坐して身と心を調えよう
命尊くはるる身は苦痛を分けよ
生かされても自らを磨き続けよう

東海山 白林寺

声 私は仏教を信仰し、
生活信条をつらねて生きています
氏名 和世

（1本のお経）ずつ、100
日続けた人もいます。普通の
ネット写経を行っているの
は約200カ所だ
という。
「ネット写経が登
場したのはここ4
5年です。しか
し、多くはHPに
お経を載せただ
け、といった程度。
本誌・堀 和世